

SEERデータ提供の取り組みについて —NCI: Surveillance Research Program訪問報告



堀 芽久美

国立がん研究センター がん対策情報センター がん統計・総合解析研究部

National Cancer Institute(NCI)が支援するSurveillance, Epidemiology, and End Results(SEER)は米国のがん対策に資するがん統計情報の提供を目的としたプログラムです。私たちはSEERの詳細を知り、日本で実現可能なデータ提供体制への示唆を得るため、2017年8月にSEERを訪問しました。



SEERの外観

SEERでは、オンライン利用申請と誓約書の電子メール送付によって、日本では一般に提供されていない詳細なデータを簡単に利用することができ、罹患例が少数に絞られる部位の患者データも例外なく提供されていました。日本の感覚では少し

不安があるかもしれませんが、SEERとしては、たとえ1例であっても、それが誰か分からない限りプライバシー侵害のリスクは小さいのではないかと、この考え方があるようです。ここから、高いデータ活用への意識の元で、データ利活用の利益と不利益を評価する姿勢を感じることができます。ただし、米国も日本同様、詳細データの提供とプライバシー保護の関係ははまだ議論の対象ではあるそうです。また、SEERはデータの研究への利用を中心とする一方で、だれでも簡単にSEERデータを解析できるツール、正しい結果の解釈を手伝う機能の提供を行っていました。行政・一般へのデータ利活用の推進に貢献する取り組みとして参考にできる活動の一つでした。

がん登録を整備するに当たって、そのデータがより良いがん医療、がん対策のために利用されることは何より重要です。これから、がん登録情報利活用のますますの発展が望まれます。

*今回のSEER視察は平成29年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)「全国がん登録を基盤とした長期記述疫学研究用特定匿名化情報の整備に関する研究」班(研究代表者 柴田亜希子)の活動の一部です。

特定非営利活動法人 日本がん登録協議会

JACR事務局だより

特定非営利活動法人 日本がん登録協議会事務局
濱松 若葉

ご挨拶

新年度を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。
会員情報の変更連絡を頂いた連絡会員の皆様方、事務局へのご連絡への御協力、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

事務局では、この春から新たに2名の非常勤職員が加わりました。

会の活動を充実させるべく、日々の業務を行っております。今後ともよろしく願いいたします。

会員のご入会について

平成30年2月1日以降、新たにご加入頂きました賛助会員の皆様をご紹介します。

新たに、賛助会員(個人)として戸井田睦美様・他1名の方にご加入頂きました。

この場をお借りして、感謝申し上げます。

